

# 十年目の

# 女性学

豊かな男女共同参画社会をめざして、女性・男性が抱えている問題を、映画鑑賞を通して考え、また興味のわくテーマについてトークしましょう。案内人は鎌田明子さんです。

また、今年度から米澤洋子さんによる「ゼミナール」を新設します。(9月)

人生100年時代を有意義に生き抜くためには、自分の世界をより広く、豊かにしたいと願う。そのためには、外からの新鮮な刺激を受け、自分の感情と思いを開け放ち、頭脳を鍛錬することが大切です。そのためには、〈積極的に学ぶ〉ことが重要です！

年齢・性別を問いません。参加費無料ですのでお気軽にご参加ください。興味のある回だけの参加もできます。(マスク着用でご来館ください。)

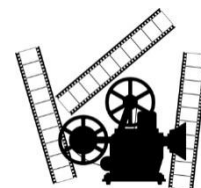
今年度から映画鑑賞の前にトークの時間(1時半～2時)を設けます。映画の背景や見どころなどを知って、気軽におしゃべりすると、映画の魅力は格別になります。

開催内容 ～全7回～(日程の曜日と時間にご注意ください。)

1	5月27日(木) 13:30～	トーク【映画「家の鍵」制作の原点となったイタリアの小説について】 (1時半～2時)案内人 鎌田明子さん
		映画「家の鍵」(2004年、イタリア。111分)(4年目の女性学で放映) (2時～4時) 障害をもって誕生した息子から逃げた若い父親が、15年ぶりにわが子に再会する。父親として息子にどう向き合い、その責任を果たそうとするのか。イタリアで65万人の観客を動員した感動の名作。
2	6月10日(木) 13:30～	トーク【メディアリタラシーとジャーナリズムの責任】(1時半～2時) 案内人 鎌田明子さん
		映画「記者たち—衝撃と畏怖の真実」(2019年、アメリカ、91分) 2002年ジョージ.W.ブッシュ大統領は「大量破壊兵器撲滅」を掲げ、イラク侵攻に踏み切ろうとしていた。「ナイト・リッター」誌のワシントン支局長は部下とともに真実追及の取材を始める。だが破壊兵器の証拠はなく、政府の陰謀であることを突き止めた彼らは、戦争突入を止めさせるために・・・ジャーナリストとしての信念や、貫くべき姿勢・態度などを知ることができる力作。
3	7月15日(木) 13:30～	トーク【映画「あん」の背景】(1時半～2時)案内人 鎌田明子さん
		映画「あん」(2015年、日本。113分)(2時～4時) 河瀬直美監督、ドリアン助川原作。樹木希林、永瀬正敏、市原悦子。「私たちはこの世を見るために、聞くために生まれてきた。だとすれば、何かになれなくても、私たちに生きる価値があるのよ。」美味しい粒あんを炊く謎多き女性と、どら焼き店の店主や店を訪れる女子中学生などの人間模様。人間が尊厳をもって生きる姿をこの映画に見ることができる。

4	9月9日(土) 14:00~ 1階研修室	「ゼミナール」 講師：米澤洋子さん (2時~4時)
		<p>標題：「17文字の自己表現—阿倍みどり女から夏井いつきまで—女性は俳句に何を託してきたか—」 (※映画鑑賞ではありません)</p>
5	10月14日(木) 13:30~	<p>トーク【消し去った秘密。養子に与えられた自己の出生の真実を知る権利】 (1時半~2時) 案内人 鎌田明子さん</p>
		<p>映画「秘密と嘘」(1996年、イギリス。145分)(二年目の女性学で上映) (2時~4時)</p> <p>ロンドンで娘と共に生活している中年女性シンシア。一本の電話が、削除したはずの若き日の秘密に直面させる。1975年のイギリスでは、養子に出された子供に、望めば自分の出生の真相を知る権利が与えられた。</p>
6	11月11日(木) 13:30~	<p>トーク【母と娘の強い確執をテーマにした映画さまざま】(1時半~2時) 案内人 鎌田明子さん</p>
		<p>映画「秋のソナタ」(1977年、スウェーデン。90分)(三年目の女性学で上映) (2時~4時)</p> <p>年老いてなお美しく、国際的に活躍するピアニストの母。娘は久しぶりに母を招いて穏やかな交歓を願うが、期せずして母娘の壮絶な確執がほとぼしり出る。大女優イングリッド・バーグマン没後40年、遺作となったこの映画は色あせず、母娘の永遠のテーマは圧巻。</p>
7	12月9日(木) 13:30~	<p>トーク【日本の地方議会の実態を知る。→女性議員の数は?】(予定) (1時半~2時) 案内人 鎌田明子さん</p>
		<p>(予定)ドキュメンタリー映画「はりぼて」(2020年、日本。100分)</p> <p>富山県の小さなテレビ局が発した「政務活動費と異なる報告」により、市議14人がドミノ辞職した。その後3年間、更なる腐敗と開き直りとしかたれない実態を報道し続けて地方政治の不正に挑んだ。笑い事ではすまない人間の狡猾さと愚かさは暴かれたが、どこに責任が?と問いかける。(日本記者クラブ特別賞、ギャラクシー賞報道部門大賞、菊池寛賞など。)</p>

※悪天候、その他のやむを得ない理由によって、内容を変更もしくは開催を中止することがあります。  
 ※研修参加ご希望の方は、お申し込みが必要です。(当日会場でお申し込みください。)  
 ※参加費は無料です。



主催：高島市働く女性の家【NPO法人 元気な仲間】

共催：高島市男女共同参画推進協議会 “ハーモナイズ高島”

自主学习グループ(小林 斐子)

TEL/FAX 0740-22-5775

“ゆめぱれっと高島”高島市働く女性の家

受付時間：火~土曜日 9:00~21:00、日・月曜日・祝日は休館日